

MRI 造影検査同意書

※検査当日、受付時ご提出ください。

※当日は予約時間 **30 分前**にはご来院ください。

1. MRI検査と造影剤

MRI検査は強い時期と電磁波を使い、身体(頭部・躯幹部・四肢)の内部構造を精密に観察する検査です。放射線の被曝はありません。造影剤を注射することによって、診断に役立ち治療もしやすくなります。使用する造影剤は、ガドニウム造影剤と呼ばれるものです(既往歴等によっては造影剤を使用できない場合があります)。造影剤は通常その日のうちに腎臓で処理され、尿中へ排出されます。検査後は水分を多めに摂取するよう心がけて下さい。

2. 造影剤の副作用

副作用の症状には次のようなものがあります。

◎軽い副作用:かゆみ、発赤、吐き気、くしゃみ、頭痛など。基本的に治療は不要です。

※発生頻度:約 0.4%以下

◎重い副作用:けいれん、呼吸困難、意識消失、血圧低下など。原則的に治療が必要です。

※発生頻度:0.0002~0.0005%病状・体質によっては 0.0001%(100 万人に1人)死亡する場合があります。

◎検査数日後にも、吐き気、発疹等の遅発性副作用が現れることがあります。

3. 造影剤の注射方法

造影剤を注射する方法には、注射器を使用し手で押して入れる方法と、機械を使って注入する方法があります。静脈には個人差があり、造影剤が血管外に漏れる場合があります。

※発生頻度:約 0.3~0.9%

造影剤は、時間とともに吸収されますが、漏れた量が多い場合には追加処置が必要となる場合があります。

4. MRI検査を受けられない場合

次のような方はMRI検査を受けられない場合がありますので、担当医へ予めお知らせください。

◎心臓ペースメーカーを使用している方

◎動脈瘤クリップや人工内耳、人工関節、心臓金属弁などの金属が体内にある方

◎妊娠もしくは妊娠の可能性のある方

◎狭いところが苦手な方(閉所恐怖症等)

※その他不明な点がございましたら、担当医師にご相談ください。

説明日: 年 月 日

説明医師:

同意書

私は造影剤に関してその必要性和副作用について説明を受け理解しました。造影剤検査を受けることに同意します。また、万一、副作用が現れた場合には、必要な処置を受けることを承諾します。

さくらがわ地域医療センター 病院長 殿

平成 年 月 日

患者氏名

代理人の場合

※当院の判断で造影剤を使用しない場合もありますので、ご了承ください。



さくらがわ地域医療センター

- SAKURAGAWA REGIONAL MEDICAL CENTER -

TEL:0296-48-9151(放射線科)